

★発表

景観マップの作成をとおして分かった赤江らしさと、それを踏まえてデザインした赤江中前バス停・田吉駅について、各班ごとに発表しました。生徒の皆さんが考える赤江らしさは、宮崎空港（旧赤江飛行場）や掩体壕などいずれも戦争に関するものがとても多く、バス停や駅のデザインにもそれが反映されており、戦争体験の話が聞ける集会スペースのあるバス停や戦争の歴史館がある駅など色々な意見が出ました。今回の景観教室をとおして、生徒に皆さんは赤江に対する理解がさらに深まった様子でした。



発表の様子 各クラスの代表が発表しました



景観マップと新しい赤江中前バス停、田吉駅デザイン

★景観教室を終えて…皆さんの感想（一部を紹介します）

・最初の授業はいろんな発見があって勉強になるものでした。建物や看板の色が周りの景観に合わせていない場合のシミュレーションの画像を見て、楽しみながら景観を大切にすることを学べました。二回目は実際に町を歩いて景観を見て、自分たちの住む地域がとても綺麗なことや、一方でもっと整備した方がいいことも感じました。最後は、これまでの学習を生かして、赤江中前バス停の提案を考えました。子供の視点や高齢者、障がいのある方の視点を大切に、安全面や景観を壊さずに楽しくつづけるような提案を皆でいくつも出しました。はじめは「景観」についての知識が皆無に等しかった私が、皆と協力して、環境や人に優しいバス停案を出すことが出来て、とてもうれしかったです。

・私達の暮らしている赤江には、たくさんの景観がありました。私は、マインドマップを作成することで、今まで気づかなかった赤江の姿を知ることが出来ました。次のまち歩きでは、マップでは分からなかった実際の姿を知ることが出来ました。そこで気づいたことは、いい景観ばかりでなく改善すべき景観があることでした。私も赤江の景観を守り悪い所は改善して、素敵な町にしたいと思います。最後は、田吉駅についての提案です。私の班は、駅の近くのラグビー場に戦争の資料館をつくる提案をしました。皆と議論する中でいい提案が出来たと思います。

赤江中の景観教室を、私の母校というご縁もあり、甲斐 慎二さんと一緒に担当させて頂きました。

「赤江」は歴史や自然が数多く残る素晴らしい町です。その町の良さを、景観をテーマに生徒の皆さんに、限られた時間の中でどのように伝えて行くかを特に考えました。

まずは景観に関するオリエンテーションから始まり赤江からイメージする事を地図にするマインドマップ作りが一日目でした。赤江の景観とは？で「宮崎空港（旧赤江飛行場）」が一番多い意見でした。二日目は学校周辺を実際に歩き、それをまとめる作業でした。最後の授業では、残したい景観を見ながら赤江の将来への提案、過去と未来を繋げるアイテムの発見の中、赤江が宮崎の空の玄関口であるという切り口から「赤江中前バス停」と「田吉駅」に絞っての景観提案を行い、班ごとにそれをまとめ発表する授業でした。

最初の授業で生徒の皆さんに「景観って何か分かりますか？赤江のまちは好きですか？」と聞いた時、ほとんどの人が手を挙げましたが、最後の授業で同じことを聞くと今度はほとんどが手を挙げてくれた事が大変嬉しくもあり大きな成果になったと思います。生徒さんには「今までは、みんなのお爺さんお婆さん、お父さんお母さん、また地元の人たちが大切に守って来た赤江の景観を今度はみんなが守っていく番です」と伝え、授業を結びました。

最後に、景観教室に過大なご協力を頂きました赤江未来の会、赤江見守り隊の皆様方に感謝申し上げ、来年度以降もこの教室がますます広がっていく事を願い、これからも微力ですが積極的に地域貢献して行きたいと思ひます。

建築士会・・・日高 達郎



宮崎市立赤江中学校 1年生

景観教室レポート



景観は、海、山、川などの自然、建物、道路など、私たちが目にするまちの姿です。また、まちの雰囲気や文化・歴史など、心に残るものも景観です。

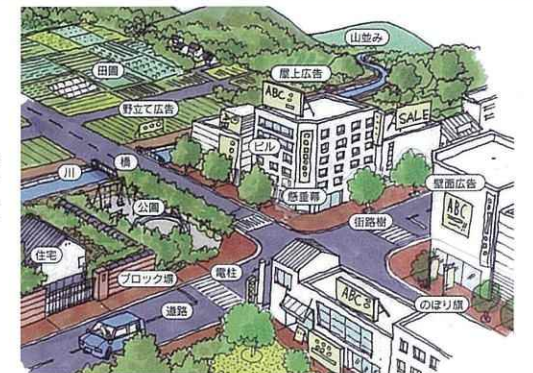
赤江中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識の向上、郷土への愛着を図ることを目的として、平成26年10月から12月の間で、宮崎市景観課と（一社）宮崎県建築士会の協力により、1年生156名を対象とした『景観教室』を、計3回行ないました。

第1回「景観を知る」 10月30日（木）5・6時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、建築士会の日高さんより、景観についての基礎的な授業が行われました。

自然や建物など、様々な景観の写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・事業所」が協力することが大切なことを知りました。



まちの中の景観を構成する要素



建築物（県庁本館）



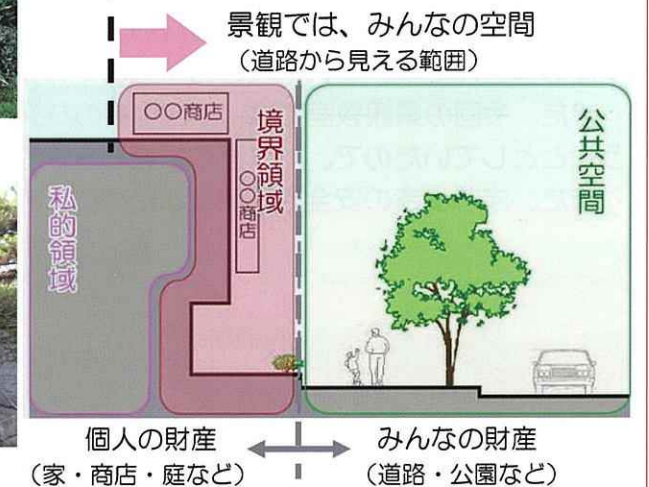
自然・道路（堀切峠）



産業（田野町の大根やぐら）



歴史（高岡町の石垣と武家門）



景観では、みんなの空間（道路から見える範囲）

個人の財産
（家・商店・庭など）

みんなの財産
（道路・公園など）

☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史…
- ②景観はみんなの財産（宝物）、みんなの手で作る、守る、育てるもの



授業をしていただく建築士会の日高さん



スライドを用いて、景観の特徴や問題点を学びました。

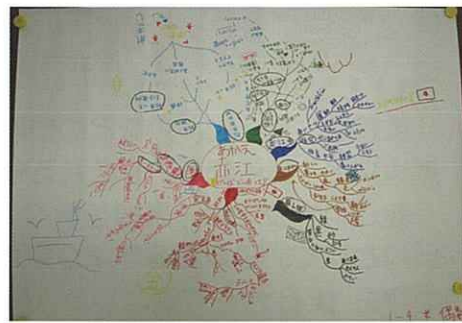
■ 赤江のイメージを探る ～マインドマップ作成～

「マインドマップ」という手法を用いて、赤江をイメージする言葉を自由に各班 100 以上模造紙に書き出しました。その後、各班ごとにもっとも赤江のイメージにあう言葉を発表しました。

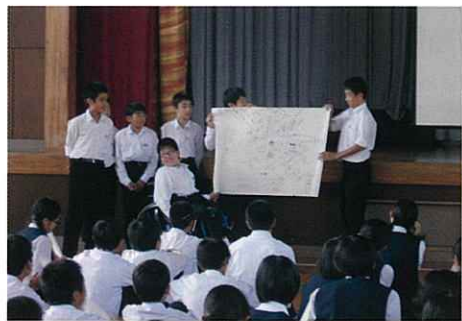
宮崎空港（旧赤江飛行場）や掩体壕などいずれも赤江地区に馴染みの深い言葉です。



マインドマップ作成の様子



マインドマップ



発表の様子 最も赤江らしい景観について発表



マインドマップ

● 第2回「景観を調べる」 11月20日（木）5・6時間目

■ 「赤江の景観」まち歩き

赤江中学校周辺のまち歩きを行ないました。コースは稲荷山周辺と田吉駅周辺の2つを設定しました。生徒の皆さんには、それぞれのコースの中の景観について、良い点と気になる点を考えてもらいました。また、今回の景観教室では、赤江中前のバス停や田吉駅について、赤江らしいデザインの提案をしようこととしていたので、バス停や駅をしっかりと観察してもらい、気づいたことをメモしてもらいました。また、まち歩きの安全を確保するために、赤江未来の会や青パト隊の方々に協力していただきました。



まち歩きの様子 班で議論したり、真剣にメモをとっています。



まち歩きコース

★まち歩きで見つけた景観



赤江中前バス停



田吉駅



松井用水路



稲荷山からの風景



母子像前バス停



稲荷神社



掩体壕



宮崎空港



赤江中学校

● 第3回「景観を表現する」 12月9日（火）5・6時間目

■ 景観マップの作成

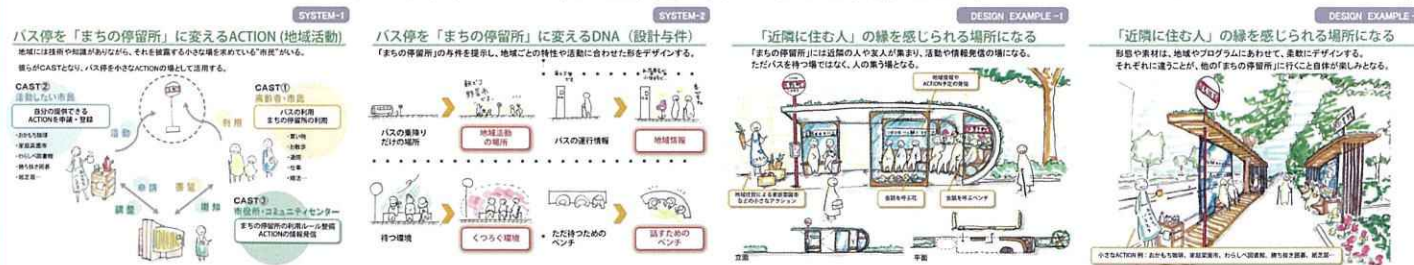
前回のまち歩きで考えてもらった、赤江中学校周辺の景観の良い点と気になる点を付箋に記入し、マップに貼り付けていきました。バス停や駅のデザインをするにあたり、赤江の景観をしっかりと整理しました。



景観マップ作成の様子 まち歩きでメモした内容を整理します。

★赤江中前バス停と田吉駅のデザインを考える

まち歩きの整理を踏まえ、赤江中前バス停と田吉駅の赤江らしいデザインを提案しました。建築士会より、デザインにあたっての説明があり、「人の集う空間」「緑のある空間」を基本コンセプトにデザインしました。



説明資料 地域におけるバス停の役割や地域のニーズを明確に示しています。



バス停、駅のデザインの様子